



前期活動報告

- 3月 8、9日 全国ことばを育む会(新宿・戸山サンライズ)
子どもの発達支援を学ぶ親と先生の集い(旧;リーダー研修会)
- 5月 28日 総会・第1回理事会(県子どもと親のサポートセンター)
- 6月 7、8日 NPO 全国ことばを育む会
全国研修会、全国代表者会議(新宿)
- 6月 15日 障害者自立支援法千葉フォーラム(千葉市民会館)
- 6月 18日 県言語障害教育研究部会研修会(千葉市養護教育センター)
- 7月 2日 第2回理事会(県子どもと親のサポートセンター)
2日 県教育委員会特別支援教育課推進室へ要望書提出
- 8月 25日 言語部会夏期研修会(千葉市)
- 26日 言語部会との情報交換会(千葉市)
- 8月 26日 平成20年度国庫補助事業保護者研修会(千葉市蘇我勤労市民プラザ)

報 告 N P O 全 国 こと ば を 育 む 会

今年度、全国組織の「全国ことばを育む会」は、6月の総会において正式に非営利法人としてスタートしました。

全国各都道府県の親の会では、各県ごとに様々な取り組みをしています。また、以前「くさぶえ」46号でご紹介した「湖南省の特別支援教育への取り組み」のように同じ日本といっても「特別支援教育」「言語教育」への取り組みは、一様ではありません。各都道府県の取り組み等は、会報「ことば」でも紹介されていますが、「全国ことばを育む会」では年数回研修会を行っています。

来年度平成21年度は、2年に1度の全国大会が開催されます。前回山形大会は、ダニエルカール氏の記念講演に始まり、分科会が行われました。

今回は、言語聴覚士の中川信子先生の記念講演と、体験発表が予定されています。言語の専門的なお話と、我が子について同じ悩みを抱えている方の

「体験発表」と「交流会」など、より会員の皆さんに身近な内容となっています。

是非、ご参加ください。

平成21年度東京大会

予告!!

8月8日(土)

[記念講演]

講師 中川信子先生

[分散会]

[懇親会]

8月9日(日)

[体験発表] ①幼児(学齢期)の子育て

②学校生活の中で

③子どもたちの進路を考える

④就労を考える

[交流会]…4つの発表を聞いた上で

会場 : 國學院大學渋谷キャンパス

報 告 平成20年度国庫補助事業保護者研修会

8月26日(火)千葉県蘇我勤労市民プラザにて、平成20年度国庫補助事業 保護者研修会を行いました。

研修会では、日本吃音臨床研究会 会長の伊藤伸二先生を講師にお迎えし、吃音についてお話いただきました。吃音という具体的な内容だったこともあり、夏休み中にもかかわらず、会場いっぱいの参加者がありました。

どもる君へ いま伝えたいこと —幸せに生きるために—

いつもはあまり話さないという、家族の話から先生の話は始まりました。

自分ひとりのための子守唄を歌ってくれた愛情深い母親のこと

どもりであることに悩み、劣等感をもった子供時代

どもることを受け入れて生活できるようになるまで

のお話がありました。

**どもりだから、
できない! ?**

そう思ってきたが、そうではなく、どもりながら行動すればいいこと。どもっているからという理由でできないことは、何ひとつないのだということがわかったそうです。

どもりを治そうと努力してきたが、それは難しく、どもっていることを受け入れるようになったこと。

どもっていても、 自分がなりたい 仕事につける!?

ひとつの転機は大学の教員になったこと。教員は話しをするのが仕事です。自分に伝えたいことがあれば吃音でも話して伝えられるのです。どもりでも、自分がなりたい仕事にはほとんどつくことができること。

吃音でも、俳優、司会者、落語家、政治家など、話すことを専門にしている人は多いのは、「ことば」にこだわってきたからかもしれません。

吃音で悩み乗り越えてこられた半生を飾ることなく話してくださった先生のお人柄でしょう、後半は何人かの方から質問がありました。悩む親の気持ちに寄り添って応えてくださった先生に感動しました。

親が子供のことを心配するのは当たり前

子供に何もしてやれなくても愛情さえ伝わっていればいいこと

子供が悩んでいるときは一緒に悩んでくれる人がいればいい

どもる自分を受け入れること

親の愛情を感じ、信頼できる仲間を持つこと

の大切さを感じました。

吃音の話でしたが、他の悩みでも当てはまることが多く、とても充実した時間でした。講演会后、先生の資料や、「どもる君へ」の本を読んでもみると、心の中にすっと入ってくる感じがしました。

(副会長 山本 はるみ)

伊藤先生の『私の小学生時代、中学校、高校時代を振り返り、直接子どもたちに語りかける本を書きたい』との思いが一冊の本になりました。

先生の体験を元にされた「どもる君へ」は、学童期・思春期の子どもたちへのメッセージが詰まった、とても読みやすい1冊です。



注文方法 パンフレット担当 山本 Fax047-430-0486 /

1. 教育委員会へ 要望書提出

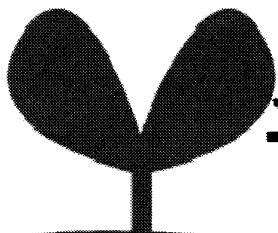
- ① 指導担当者研修の充実と教室の適切な設置
 - ② 幼児・中学生の指導機会の充実
 - ③ 特別支援教育の学校全体での連携・協力の推進強化
- * 詳しい内容については、10/22の理事会にて報告させていただきました。
- * 県と各地区がサンドイッチのように要望を伝えていくことが大切です！！

2. 第4次県障害者計画策定のための タウンミーティング参加

県内7か所でタウンミーティングが行われました。「福祉」と「教育」の連携を軸に、言語障害教育の立場から役員が発言をしました。

- ① 県内格差の無い、「ことばときこえの教室」設置。地域の様々な障害者理解（言語障害、発達障害など）に置いて重要です。（学区内での指導）
 - ② 言語指導担当者の育成。大変専門性の高い教育分野です。
- * また、意見書として提出しました。

HPIリニューアルしました！



千葉県ことばを育てる会

<http://kotoba-chiba.com/>

あしがき 平成20年度も、もう折り返しですね。運動会をドキドキ観戦して、お子さんの活躍に一喜一憂されたのではないのでしょうか。それは、「ことばの教室」や「学校行事」全般においても同じではないのでしょうか？千葉県ことばを育てる会の活動が、「ことば」に関わる皆さんへの応援歌になるようこれからも様々な情報をお伝えしていきます。でも、主役はみなさんです。

事務局へ、ご意見ご感想をお寄せ下さい。